

統合小学校の開校に向けて



△現在の鶴田小学校敷地内に建設される統合小学校の完成予想図（南東側）

鶴田町の全ての小学校（鶴田小、菖蒲川小、梅沢小、胡桃館小、富士見小、水元中央小）が統合し、平成32年4月に開校する予定です。
今回、統合小学校の基本設計が完成しましたので、その概要をお知らせします。

町内の児童数は、昭和33年の3968人をピークに減少を続け、平成27年には634人となり、現在、町の小学校の大半に複式学級が導入されています。平成26年4月2日から平成27年4月1日生まれの子が小学1年生となる平成33年には、503人になると推計されています。

このような現状を踏まえ、鶴田町子どもたちにとって、よりよい教育環境や教育活動を保障していくために、町では昨年、町の小学校の学区再編の方針を示す「鶴田町立小学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」を策定。昨年5月から地域住民への説明会を重ね、町内の6つの小学校を1校に統合し、全町1学区制とすることを決定しました。また、新しい統合小学校は、現在の鶴田小学校の敷地内に建設することとし、学校給食共同調理所と屋内運動場、サンシャインスクールを新たに併設することも決まりました。



△統合小学校の完成予想図（北側）

統合小学校の概要と特徴

■規模・デザイン等

全施設の総延べ床面積は約 11,633 m²で、鉄筋コンクリート 3 階建て。ガラスを多用し、自然光を多く取り入れ明るく開放的な造り（校舎の一部は吹き抜け式）。内部は木仕上げを多用し、児童に安心感と温もりを感じさせるアースカラーを採用します。

■教室・設備等

18 ある普通教室は 40 人対応の 8 m×8 m の大きさ。学年ごとに展示やグループ学習で利用できる多目的スペースや、250 人収容可能なランチルームを設置。その他、地中熱を使った冷暖房を完備する予定です。

■学校給食共同調理所（給食センター）

1 日最大 1100 食の調理が可能。校舎 2 階から給食を搬入し、エレベーターで各階に配膳します。

■屋内運動場（体育館）

ミニバスケットボールコート 2 面を確保できる大きさ。競技等の観覧や運動が出来るような階段ベンチや、3 階には観覧や軽運動が可能なギャラリーを設置。

■サンシャインスクール（学童保育）

屋内運動場の 1 階に設置。8 つある保育室の各部屋間には、使用用途に柔軟に対応できるように可動式の間仕切りを設置します。



屋内運動場（1 階は学童保育）

サンシャインスクールは 1 か所へ集約することに決定

統合後のサンシャインスクール（学童保育）の配置について、町教育委員会ではサンシャインスクール検討委員会を設置し検討を重ねてきました。今年 2 月にはその審議結果が答申され、教育環境や児童の安全確保などを第一に考えた結果、町教育委員会としては「サンシャインスクールの配置については 1 か所にまとめる「集約型」が適切である」との結論に達し、新たな統合小学校に集約されることに決定しました。

集約型採用の主な理由

- ①「集約型」は、学校の教育活動を終了した児童が、各自のタイミングでサンシャインスクールに移動できるので、安全管理体制が確保できる。
- ②サンシャインスクールは、「学校」という母体の中に設置されているので、不審者対応、施設・設備の安全点検等は学校側で行っているが、「分散型」の場合は全てサンシャインスクールの指導員が対応することとなり、大きな負担を強いることになる。
- ③震災等の緊急事態への対応を考えたとき、「集約型」は学校本体と連携しているため、緊急避難、集団下校などさまざまな対応が可能。また、大規模地震を想定したとき、児童を耐震性に優れた新設校舎にとどめておけることなど、安全確保の視点から「集約型」が望ましいと考えられる。

